

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和7年度)

調査表

施設名	県立農業大学校農業総合研修センター及び宮崎県農業科学公園
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日(5年間)
県所管部課	農政水産部農村振興局担い手農地対策課

1 施設利用状況

指 標		R7	R6	R5	増減理由等
研修実績(延べ人数)		11,918	12,602	12,244	研修実績は、実践塾入塾生の減やオンラインの普及によるリカレント研修の現地出席者の減、酷暑によるブドウ収穫体験の期間短縮などにより、昨年度比で減少した。 宿泊者数は、スポーツ合宿利用団体の受入増が全体を押し上げ、コロナ禍以降では最多となった。 公園及び科学館については、地域行事との日程重複によるイベント参加者の減や営繕工事(空調・照明)による施設の利用制限などにより、いずれも前年度から減少した。
研修宿泊者数(延べ人数)		2,830	1,833	1,351	
農業科学公園入園者数		132,492	158,185	145,224	
農業科学館入館者数		16,775	20,957	19,574	
コメント	就農希望者に関する情報把握や就農希望者等への情報発信のあり方などを見直し、研修参加者確保に向けた取組を強化する必要がある。 また、公園・科学館については、魅力あるイベントの企画や地域行事との調整、効果的な広報等により、利用者増を図る必要がある。 令和8年度より始まる4期目の指定管理期間において改善を促していく。				

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	R7	R6	R5	支 出	R7	R6	R5
指定管理料	69,487	69,487	69,487	人件費	51,694	52,195	52,692
利用料金	1,254	920	905	光熱水費	11,249	12,191	10,079
生産物売払収入	21,294	24,966	21,297	事務費	9,519	10,142	9,216
その他収入	506	667	180	その他	20,037	21,856	19,842
合 計(①)	92,541	96,040	91,869	合 計(②)	92,499	96,384	91,829
収支差額(①-②)	42	-344	40				
コメント	効率的な運用や費用の削減努力により、安定的な運営を行っており、評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和7年度に新たに取り組んだ内容

事 項	実 施 内 容
維持管理業務	清掃 研修センター事務室の日常清掃及び年1回の床面ワックスがけ、農業科学館・管理棟・ふれあい体験館・物産館・フラワーハウスの床面及び窓ガラス清掃、農業科学館雨樋清掃 等
	保守・点検 浴槽水質検査(年3回)、貯湯槽水質検査(年1回)、重油地下貯蔵タンク(年1回)、除草・芝刈り(年6回以上)、高木の枝剪定、ビニールハウス自動開閉装置動作点検(年1回)、環境制御システム動作点検(年1回)、ハウス用加湿機動作確認等(年1回)、ウォーターランド保守管理 等
	警 備 (県立農業大学校による警備)
	修 繕 (県発注による工事・修繕)ふれあい体験館高圧ケーブル取替、農業科学公園遊具修繕工事、ウォーターランド漏水補修、宿泊棟カーテンの取替、農業科学館・管理棟空調設備改修工事
	備品等管理 農業機械(トラクター、運搬車等)部品交換・修理
	安全対策 土日祝日の公園職員複数勤務体制、公園遊具点検(年1回)
	その 他 公園全体の植栽管理(芝生、花壇、樹木等)
企画運営業務	サービス提供体制整備 利用者アンケート、農業総合研修センターの休日利用や農業体験休日受入への対応
	イベント等ソフト面充実 ぶどう収穫体験、ハロウィンかぼちゃ祭り、ホームページ・facebookによるPR、農業科学公園ルピナス通信発行 等
	施設設備等ハード面充実 (県発注による整備)農業科学公園・研修センター照明LED化
	その 他 -
管理運営体制	緊急連絡網の整備
コメント	リカレント研修ではオンラインも活用し、受講者の確保に努めている。また、みやざき農業実践塾の運営等に精力的に取り組んでおり、就農者の確保につなげている。公園については季節ごとに適切な植栽管理がされており、イベントに関しては、地元TV局との共催イベントの実施や体験教室の充実など集客に向けた工夫をしている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(リカレント研修12講座(計507人)で実施(回答499人)、宿泊利用者409人に実施(回答68人))	
調査結果、主な苦情・要望内容		その対応結果等
(宿泊)ハマユウ1～10の伝統の豆球が点灯しなかった。		設備の不具合や備品調達は予算の範囲内で対応していく。
(宿泊)快適に過ごせました。		今後も利用者が快適に宿泊できるよう適切な管理運営に努める。
(リカレント研修)様々な角度の講習を希望します。		講師との打ち合わせを通じて適切な研修内容になるよう努める。

5 総合評価

評価コメント	指定管理通算11年目(第3期指定管理最終年度)であり、安定的な運営が行われている。また、農業の普及啓発や新規就農者の育成、イベントの企画において、PRの手法を見直すなど利用者増に向けた工夫が必要である。
今後の課題と対応	施設や農業用機械等の老朽化が進んでいることから、日常のメンテナンスなどの安全対策については、引き続き重点的に取り組む必要がある。